

vol.109

2020年9月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <https://www.niceheart.or.jp/>



な い す は あ と



エアロビック体験

表紙／写真 2019 ふれあいのスポーツ広場上三川大会の様子	1
報告／ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究	2
賛助会員御礼他	4



ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究

～ 2020 年度 障害福祉サービス事業所に対するアンケート調査に向けて ～

実施主体：有識者による研究会

- ・ 藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授
- ・ 金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授
- ・ 林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授

助成

社会福祉法人黎明会 福祉開発振興援助事業

～研究の目的・調査対象と期間～

当基金の設立目的である、よりよい社会づくりのために協働し共生社会づくりへの一助とするため、障害福祉サービス事業所及びユニバーサルスポーツの提供団体と連携し、障害の有無に関わらず行うことのできるスポーツプログラムの充実に寄与することを目的に、この研究を実施する。

- (1) 障害福祉サービス事業所におけるユニバーサルスポーツの取組の状況を明らかにする。
- (2) 地域を基盤とした、社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにする。

期間：2019 年度～ 2020 年度の 2 年間

調査対象：

2019 年度 - 事例研究

- ・ ユニバーサルスポーツ実施団体及び障害福祉サービス事業所等のスポーツに関わる活動の事例研究

2020 年度 - 障害福祉サービス事業所の調査票調査

- ・ ふれあいのスポーツ広場参加の障害福祉サービス事業所に対する調査

～ 2019 年度の報告書の発行～

スポーツを通じて、楽しみながら体験し理解することのできるユニバーサルスポーツの取組は、国、地方自治体、企業や民間の公益

団体が積極的に取組を進め、広がり続けています。

私たちは、これらの取組が継続して進めていくために、新たな視点のアプローチが必要ではないかと感じています。このため、国内でのユニバーサルスポーツの取組の要点を明らかにすると共に、障害のある方が多くの時間を過ごしている障害福祉サービス事業所の状況について、調査事業を実施することといたしました。

2019 年度には、各地の取組の事例を行っている団体への訪問調査を行い、その活動のきっかけやスポーツの内容、協力団体の状況、現状での課題などを聞き取り、共通する要点を明らかにするべく実施いたしました。団体の専従者として活動をされている方、ボランティアに活動をされている方など、様々の立場の方にご協力をいただきました。11 団体で伺ったお話の内容は、ユニバーサルスポーツを行う上での活動の要点として示唆に富むものでした。

それらを踏まえて、報告書ではユニバーサルスポーツの共通する魅力を考え、今後の各団体の取組をより広げ、また新たな取組が始まることを期待して、ユニバーサルスポーツの特性と魅力を解明し、多くの地域、多くの方に参加が得られるよう、今後の方策として提言をまとめさせて頂きました。

※詳細は、当基金 HP「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 2019 年度報告書」

～ 2020 年度 WEB アンケート実施へ～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2019年とは世界が一変し、2020 東京パラリンピック競技大会も延期となりました。そのような劇的な社会情勢の変化がある中、私たちは障害福祉サービス事業所におけるユニバーサルスポーツの取組の状況を明らかにし、取組が広がることを目的に、10 月から WEB 上でのアンケートを実施致します。

ユニバーサルスポーツを通じて、より多くの人々に参画いただき、楽しみながら体験することにより、社会自体がユニバーサルなものになっていくことを願う調査研究事業のためのアンケートとなるよう努めます。

～ WEB アンケートご協力のお願い～

該当される障害福祉サービス事業所の方々には、ぜひアンケートのご協力をお願い出来ればと思います。

WEB アンケートのご入力は、下記 URL のナイスハート基金ホームページにアクセスして頂き、ご入力頂けます。

URL : https://niceheart.or.jp/?page_id=1624
「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究アンケート調査」

- ・パソコンからでもスマートフォンからでもご入力頂けます。
 - ・「進む」ボタンをクリックをして開始します。
- アンケート入力期間：10 月 1 日～ 11 月 30 日

※なお、入力は無記名となっております。また、調査結果は統計的な数値として取りまとめ、ご回答いただいた内容は調査目的以外には決して使用いたしません。プライバシー保持には万全を尽くしますので、ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

～アンケート項目の一部抜粋～

- ・貴団体団体の活動内容についてお教えてください
- ・貴団体のレクリエーション活動について、今までに実施しているものをお教えてください
- ・今年流行をした、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせた行事をお教えてください
- ・今後再開するために必要な事柄をお教えてください
- ・スポーツが行われている場合、その競技をお教えてください
- ・スポーツを行う上で連携している団体をお教えてください
- ・ユニバーサルスポーツについてお伺いします。ユニバーサルスポーツをご存じですか
- ・ユニバーサルスポーツについてどのような競技を思いつかれますか
- ・ユニバーサルスポーツへの参加についてお教えてください

- ・当基金で開催している「ふれあいのスポーツ広場」をご存じですか他

【ご入力上の注意点】

- ・設問には初めから順にお答えいただき、記入もれのないようにご確認をお願いします。
- ※記述式以外は回答必須項目となっております。

- ・設問の回答は、ひとつだけの場合と複数の場合があります。それぞれの設問の指示に従って下さい。

ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 ～有識者による研究会メンバー プロフィール～

藤田 紀昭（ふじたもとあき）

筑波大学大学院修士課程終了

博士（社会福祉学）

現在、日本福祉大学スポーツ科学部教授

スポーツ庁スポーツ審議会スポーツ健康部会委員、（公財）日本障がい者スポーツ協会技術委員会副委員長、（一社）日本ボッチャ協会理事などを務める。著書に『パラリンピックの楽しみ方』『小学館』、『障害者スポーツの環境と可能性』（創文企画）などがある。



金山 千広（かなやま ちひろ）

広島大学大学院総合科学研究科博士課程後期修了 博士（学術）

立命館大学産業社会学部教授

日本障がい者スポーツ指導者協議会研修部員、（公財）兵庫県障害者スポーツ協会理事、スポーツ庁「地域における障害者スポーツ普及促進に関する専門委員」などを務める。

ススポーツ経営学の立場から、学校や地域におけるインクルージョンを検討している。

著書『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』（大修館書店・分担）



林田 はるみ（はやしだ はるみ）

早稲田大学大学院博士課程終了

博士（スポーツ科学）

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授

理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー、（公社）日本エアロビック連盟普及指導委員会委員長などを務める。

現在は特に酸化ストレスや免疫機能など、女性の健康づくりに関する研究を行なっている。



ふれあいのスポーツ広場「中止」のお知らせ

昨今の新型コロナウイルス感染症の状況悪化に伴い、多くの方にお集まりいただき実施するスポーツ大会において、感染予防対策等の検討を進めておりましたが、みなさまにご安心いただいて参加できる形で実施することは困難であるとの結論に至り、2020年は全て中止させていただくことといたしました。ご参加を検討してくださっていた皆様には、大変心苦しく、苦渋の選択となってしまい、深くお詫び申し上げます。来年実施するために、また安心してご参加いただけるように、今後あらゆる方法を検討して参りたいと思いますので、皆様のご理解のほどよろしくお願いします。

ナイスハートなご支援をありがとうございました

2020年7月から9月の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金並びに特定寄附金を頂戴いただきました。いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【賛助会員】袴 成光様

【寄附金】（特非）フレンズ様

